

◇扶和メタル、船橋でバングラ向け2万トンの船積み

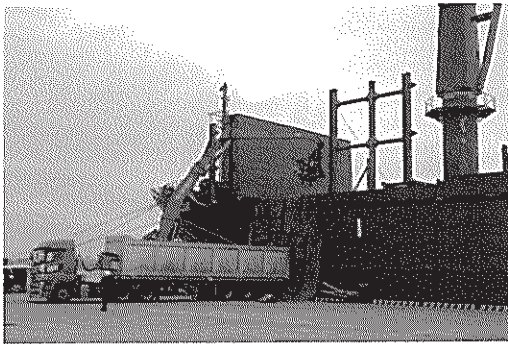
千葉県船橋市の公共埠頭・船橋中央埠頭で行われている鉄スクラップ船積みが、規模の大きさと輸出先の新しさとでマーケットの話題を呼んでいる。船積み数量は2万トン。国内で前例はほとんどない規模で、東京湾では過去最大だ。



同埠頭Eバースに接岸されたGLORIOUS SUN-LIGHT号＝写真(1日撮影)＝は全長165㍎。5つの船倉(カーゴ・ホールド)を備えた大型船で、のべ2週間程度をかけてH2を1万トン、H1/H2ミックスとHSそれぞれ5千トンを積み込む予定。シッパーは関西の大手業者・扶和メタルで、同社と昨年7月に鉄スクラップ事業で業務提携した共栄とシマブンも一部荷物を提供する。

そしてもう一つ、今回の船積みはマーケットの関心を集めているのは、輸出先がバングラデシュである点だ。2014年に通年でゼロだった日本から同国への輸出は、2015年に過去最高の4.7万トンを記録。バングラデシュは韓国に代わる次期有望市場として、インドとともにシッパーが熱い視線を注ぐ向け先だ。

さらにこの出船後、同社は同一バースでベトナム向け2万トンの船積みを連続して行う予定。2万トンの大型船を2船連続、合計4万トンを立て続けに手がける異例の試みとなる。



韓国や中国、台湾など近隣諸国の自給化に伴い、将来的により遠方への輸出が不可避となる中、国際競争力を高めていくには大型船での輸出が不可欠。これと並行し新たな市場の開拓も急務だ。今回の船積みは「大型船」と「販路開拓」という輸出市場の2つのキーワードを同時に実現した、「次の時代」を先取りする船積みと言えるだろう。(天野)

<Web閲覧システムには2月4日19時00分に掲載>

◇中国の輸入鉄鉱石スポット価格42.49ドル(3日)

＝輸入鉄鉱石価格(粉鉱)は前日比0.56ドル高

中国鋼鉄工業協会(CIISA)が調べた3日の鉄鉱石価格インデックス(CIOPPI)によると輸入鉄鉱石(含有鉄分62%、粉鉱)は42.49ドルと前日比0.56ドル(1.3%)アップした。元建(増値税込み)では358.97元(約54.57ドル、1ドル＝6.5778元)と、同4.56元上げ、6日連続してジリ高推移した。

国産鉄鉱石(成品)価格も続伸。含有鉄分62%の鉄鉱石はトン当たり434.74元(約66.09ドル)で同0.62元上げた。この結果、含有鉄分62%の輸入鉄と国産鉄の元建て価格差(内外価格差)は75.77元(17.4%)、国産鉄より輸入鉄の方が安い。

鉄鉱石価格指数(1994年4月＝100.0、CIOPPI)は159.86で、前日比1.67ポイント増。内訳は国産鉄鉱石(成品)が168.95で同0.24ポイント増、輸入鉄鉱石は157.31で同2.07ポイント増となった。

中国の鉄鉱石価格指数(CIPI)

	2月3日	2月2日	2月1日	前日比
総合価格指数	159.86	158.19	157.43	+1.67
国産鉄鉱石価格指数	168.95	168.71	168.57	+0.24
鉄分62%(人民币)	434.74	434.12	433.77	+0.62
鉄分65%(人民币)	450.36	449.62	449.20	+0.74
輸入鉄鉱石価格指数	157.31	155.24	154.31	+2.07
鉄分62%(ドル)	42.49	41.93	41.68	+0.56
鉄分62%(元建)	358.97	354.41	353.85	+4.56
鉄分58%(ドル)	37.81	37.29	37.00	+0.52
鉄分58%(元建)	329.33	325.71	324.37	+3.62

出所: CIISA

(佐藤)

<Web閲覧システムには2月4日16時46分に掲載>